

保護者様

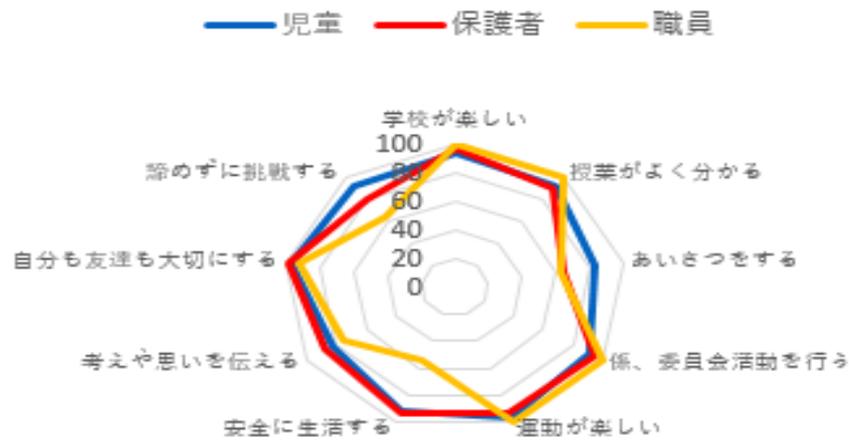
富士市立富士中央小学校  
校長 福島 潤子

## 令和7年度 第2回「学校評価」集計結果の報告

保護者の皆様には、日頃より本校の教育にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、冬休み前に9月から12月までのお子さんの様子やご家庭における保護者の皆様の取組、富士中央小の教育活動を振り返り「学校評価」をしていただきました。その集計が完了しましたので、ご報告させていただきます。今回は、第1回と比較をしながら成果と課題を明らかにしました。この結果を今後の教育活動の生かし、子供たちのより良い成長を目指して、家庭と地域、そして学校との連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 肯定的な回答の割合 三者比較



## グランドデザイン数値目標

※ ( ) は前期との比較

児童の評価項目	できている	まあできている	肯定的な回答 合計	GD 目標値	GD 比較
学校が楽しい	49.2%	44.2%	93.4%(+0.4)	92%	↑
授業がよく分かる	48.8%	42.3%	91.1%(-0.4)	90%	↑
あいさつをする	43.2%	41.1%	84.3%(-1.5)	80%	↑
係、委員会活動を行う	61.0%	30.1%	91.1%(+3.1)	90%	↑
運動が楽しい	73.2%	22.4%	95.6%(+1.0)	95%	↑
安全に生活する	59.3%	32.2%	91.5%(+0.7)	96%	↓
考えや思いを伝える (富士中校区共通項目)	43.4%	39.4%	82.8%(-2.1)	88%	↓
自分も友達も大切にする (富士中校区共通項目)	38.2%	58.9%	97.1%(+2.5)	95%	↑
諦めずに挑戦する (富士中校区共通項目)	62.0%	30.1%	92.1%(+2.7)	88%	↑

## ★学校生活全体に関して

「学校は楽しい。」「よい表情で学校に行っている。」は、児童、保護者の数値が前期より良くなり、全職員も肯定的に捉えました。前期に続き、グランドデザインにある数値目標を達成することができています。また、第1回の報告で取り上げた「困ったことを富士中央小の先生に気軽に相談できる。」では、肯定的な回答をした児童が約1%増えました。富士中校区共通項目においても2項目で数値が上がり、目標にも届いています。

前期・後期ともに約98%の保護者の皆様に「安心して子供を任せられる」と言ってもらっています。今後も皆様の高い信頼を得られる学校を築いていけるように、児童一人一人を思い大切に、支えていきます。

## ★授業や学習面に関して

今年度も4回の授業参観を実施し、一生懸命学んだり、友達とかかわり合ったりする姿を多くの保護者の皆様

に見ていただくことができました。「授業が良く分かる。」と肯定的に回答した児童の数値はわずかに減りましたが、引き続き90%を超えています。しかし、富士中校区共通項目「先生や友達に自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。」では、82.8%で前期と同様に目標に届かず、「授業がよく分かる。」に比べても5%ほど低い数値になっています。

「自分の好きな学習がありますか。」では約99%の児童が、「もっと知りたい、もっと学びたいことがありますか。」では約93%の児童が前後期ともに肯定的な回答をしています。チャレンジ学習を頑張っている児童のノートが校長室前廊下掲示に飾られています。学びに主体的に取り組むことができる良さが表れています。

研修テーマに掲げる、かかわりを大切にした授業づくりに今後もさらに取り組み、学力の定着と同時に伝える力もさらに高めていきたいと思えます。

#### ★あいさつ、係・委員会などの活動に関して

「自分から進んであいさつをしている。」では、三者共に肯定的な回答の数値が3%ほど下がっています。学年別の数値では、6年生が一番高い数値となりました。生活委員会によるあいさつ運動も続けて行われています。頑張っている高学年の姿が全校に広がっていくといいと思えます。来年度は、富士中校区3校で、あいさつに力を入れていきます。今後も、今まで以上に家庭や学校、地域が一体となってあいさつを広げ、根付かせていけるとよう、ご協力ください。

係・委員会については、児童の肯定的な回答が91%となっており、前期に比べ3%上がっています。日々の生活やレインボーフェスティバルなどの行事をみんなでより良いものにしようと、学級でめあてに向かって協力し、取り組んできた表れだと考えます。

#### ★運動・安全面に関して

「運動することが楽しい。」「あきらめずに挑戦している。」の児童の数値は少し上がっています。後期には、持久走や縄跳びの学習に一生懸命取り組む児童の姿もたくさん見られました。あきらめてしまっていると回答した13%の児童に対しても今まで以上に励まし、温かく支えていながら、達成感を味わったり自信を持ったりできるようにしていきます。

安全面では、前期と同様に、「学校生活の中で安全に気を付けて生活している。」では、職員の数値が低いものになっています。校内放送での全校指導や各学級で児童の実態に合わせた指導など、様々な場面で繰り返し指導を続けています。しかし、廊下や階段を走っている危険な場面、登下校時のけがなど、心配な事象がなかなか減りません。子供たちの安心安全な生活を築いていく意識を高めていけるよう繰り返し指導をしていきます。

#### ★保護者アンケートのご意見より

本校の教育をより良いものにしていくためのご意見やご提案をたくさんいただきました。すべてにお答えすることはできませんが、学校の考えや対応をお知らせします。

・「保冷剤等の対策をしていますが、夏場のお弁当は心配です。」

→近年の暑さは異常であり、学校でも様々な暑さ対策に取り組まなければいけません。たてわりタイムがある際の給食の献立を工夫したり、教育課程を見直して4時間下校の日を設定したりしながら、夏場にお弁当の日を設定しないような計画を立てていきます。

・「ボランティアの方に算数の九九を見守ってもらっていて、本人も頑張っている姿があり、ありがたいです。」

→民生児童委員の皆様のお力をお借りして行っている『九九博士』の活動も今年度で3年目となりました。合格をもらおうと列に並ぶ2年生の姿が印象的でした。また、委員の皆様からは、「子供たちと触れ合うことができうれしい。」というお声もいただきました。また、その他にも学習見守りサポーターや校外学習サポーター等、多くの保護者の皆様にも支えていただいています。児童の肯定的な回答が約97%という数値からも、活動が充実していることが分かります。活動の見通しを立てて早めに募集を呼び掛けたり、活動内容に合わせてサポーターをお願いしたりしながら、保護者の皆様からの思いにもつなげていきたいと思えます。

今年度、校外学習において、たくさんの方にご協力いただきました。ありがとうございます。バス代の負担につきましては、申し訳ありませんが、引き続き各自負担とさせていただきます。ご理解のほど、よろしく願いいたします。